

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎 I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、17年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
教科書等を使い、予習復習をしっかりと行う				
回	テーマ	内 容		
1	カーテンとレールについて	カーテンの種類・特徴・部分名称やレールの種類・部品・ 施工方法を理解する		
2	カーテンスタイルやローマンシェード・その他の窓装飾について	スタイル・ローマンシェード・ブラインド・ロールスク リーンの種類・特徴を理解する		
3	カーテンプランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランの作 り方を理解する		
4~ 6	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕 上げる		
7	光の種類や照明ランプについて	光の区別・単位・ランプの種類と特徴を理解する		
8	照明器具について	照明器具の種類と特徴を理解する		
9	照明プランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランの作り方 を理解する		
10~ 11	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げ る		
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
13	家具について	イスについて理解する		
14	家具について	机について理解する		
15	木造の基礎について	木造の基礎や地業について理解する		
16	木造の構造について	木造の軸組について理解する		
17	木造の壁体・開口部について	木造の筋かい・開口部について理解する		
18	木造の接合について	木造の継手仕口・接合金物について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
19	床の下地と仕上材について	床の下地・仕上材について理解する		
20	壁の下地と仕上材について	壁の下地・仕上材について理解する		
21	天井・屋根の下地と仕上材について	各部の下地・仕上材について理解する		
22	寝具(ベッド)について	睡眠とベッド [®] の関係・構造について理解する		
23	寝具(リネン)について	リネンの種類・ベッドスプレッドについて理解する		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 期末試験 課題・レポート 授業態度	10.0% 60.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、17年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
教科書等を使い、予習復習を行う				
回	テーマ	内容		
1	人間工学の定義について	人間工学と人体寸法の基礎を理解しよう		
2	人体寸法の略算値	人体の大きさと重さ、作業域について理解しよう		
3	人間の行動特性について	ポピュレーションステレオタイプの意味について理解しよう		
4	人間工学的な家具①	快適な椅子の条件を理解しよう		
5	人間工学的な家具②	机の高さの求め方、ベッドの寸法を理解しよう		
6	人間工学的な家具③	マットレスについて理解しよう		
7	人間工学的な家具④	寝具について理解しよう		
8	空間の配置と規模の検討①	建築設計の高さ方向の寸法を理解しよう		
9	空間の配置と規模の検討②	住宅の平面寸法を理解しよう		
10	空間の配置と規模の検討③	動線計画を理解しよう		
11	前期試験前のまとめ	小テストの実施と解説		
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
13	モジュラーコーディネーションについて①	モジュラーコーディネーション、モジュールについて理解しよう		
14	モジュラーコーディネーションについて②	グリッド、畳の寸法について理解しよう		
15	生活場面の構成①	LDKについて理解しよう		

回	テ ー マ	内 容		
16	生活場面の構成②	L、D、Kそれぞれについて理解しよう		
17	バリアフリー①	バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解しよう		
18	バリアフリー②	高齢者に対するインテリア計画の配慮点について理解しよう		
19	バリアフリー③	車椅子の寸法と動作空間について理解しよう		
20	バリアフリー④	バリアフリー計画（エクステリア・玄関）について理解しよう		
21	バリアフリー⑤	バリアフリー計画（廊下・階段・浴室）について理解しよう		
22	リフォーム	リフォームの意義と種類について理解しよう		
23	後期試験前のまとめ	小テストの実施と解説		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 期末試験 課題・レポート 授業態度	10.0% 60.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎Ⅲ		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、17年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	木材	木材の性質 木質系材料		
3~ 4	建築系材料	鋼材 コンクリート 機能材料		
5~ 6	塗料	塗料		
7~ 8	インテリアオーナメント	インテリアアート インテリアグリーン		
9	エクステリアエレメント	玄関周り 庭		
10	テーブルウェア			
11	ベッドウェア	ベッドリネン 枕 布団		
12	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 10.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
色彩計画		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	土居正, 佐々木
授業の概要				
好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、理論的・体系的に色づかいができる知識や技法を養い、あらゆるデザインのカラーコーディネートに活かせるようになる				
授業終了時の到達目標				
「色」の基礎知識習得の証として各分野のデザイナー、販売、企画といった幅広い職種から認知されている公的資格「(文部省後援)色彩検定3級」の取得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	授業の目的と進め方について 光と色の関係	可視光とは何か理解する		
2	PCCS三属性	有彩色と無彩色、色相・明度・彩度を理解する		
3	PCCSトーン	トーンについて理解する		
4	PCCS色の表示、PCCS色立体	色の表示方法について理解する 色立体の考え方を理解する		
5	小テスト	三属性、色立体、色名、トーン名の確認		
6	照明と色の見え方 三原色と混色	照明による効果と色の見え方を理解する 加法混色の三原色と減法混色の三原色を理解する 加法混色と減法混色について理解する		
7	色彩心理 色彩感情と色のイメージ	色から連想されるもの、受けるイメージについて理解する		
8	色対比	色の対比について理解する		
9	配色①、②	色相配色について理解する (同一色相・隣接色相・類似色相・中差色相・対照色相・補色色相) トーン配色について理解する (同一トーン・類似トーン・対照トーン)		
10	配色③	明度配色、彩度配色について理解する アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションについて理解する		
11	眼の仕組み	眼の仕組みについて理解する		
12	前期末試験	試験・解説		
13	前期の復習	前期授業内容の確認		

回	テ ー マ	内 容		
14	ファッションの色彩	ファッション色彩(流行色・嗜好色等)について理解する		
15	インテリアの色彩、エクステリアの色彩	インテリア、エクステリアの色彩について理解する 色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する		
16	過去問題①			
17	過去問題①解答解説			
18	過去問題②			
19	過去問題②解答解説			
20	過去問題③			
21	過去問題③解答解説			
22	検定問題の解説			
23	インテリアにおける色彩計画	色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する		
24	後期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
色彩検定公式テキスト3級 配布プリント カラーカード		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 30.0% 10.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パース演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	36回	0単位(72時間)	必須	土居 正明
授業の概要				
完成予想図の表現方法を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
インテリアデザインにおける透視図法(1点透視・2点透視)の技術習得 室内表現(家具・小物)、人物クロッキーの技術習得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	自室の作図	現状での技術で制作、確認		
2~ 3	パースの基本	透視図について(1点透視・2点透視・3点透視)		
4~ 5	パースの基本	小物のパース 家具のパース		
6~ 7	パースの基本	インテリア空間		
8~ 10	パースの基本	インテリア空間(1消点パースグリッド) 楕円の復習		
11~ 24	インテリア設計士課題	インテリア設計士対策(過去問題課題、今年の問題課題)		
25~ 26	パースの応用①	さまざまな空間の作成(1消点)		
27~ 28	パースの応用②	さまざまな空間の作成(1消点)		
29~ 30	パースの応用③	さまざまな空間の作成(2消点)		
31~ 32	パースの応用④	さまざまな空間の作成(2消点)		
33~ 36	修了制作のパース制作	各自修了制作に取り組む		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 10.0% 40.0% 40.0%	インテリア設計士 合格は成績への+ αに評価します 【準備学習】次回の 授業内容を踏まえて テキストを用

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎演習 I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア設計士学科試験の試験対策 ・インテリアデザインに関する基礎知識の習得 				
授業終了時の到達目標				
インテリア設計士学科試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、17年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	インテリア設計士試験について インテリアデザイン論	インテリアデザインとインテリア設計士についての確認をし、空間構成及び住宅とインテリアについて理解する		
2	材料	木材、突板について		
3	材料	木質系材料について		
4	材料	石材、ガラスについて		
5	材料	石材、ガラスについてタイル、レンガ、金属材料について		
6	材料	タイル、レンガ、金属材料についてプラスチック、塗料・塗装について		
7~ 8	材料まとめ	プラスチック、塗料・塗装について		
9	構造・生産	建築の構造①		
10	過去問題			
11~ 12	構造・生産	室内造作と各部の名称 インテリアの構法		
13~ 14	法規・法令	インテリア設計関連法規・法令		
15~ 16	インテリアデザイン基礎	形と空間構成、色彩・表現方法		
17~ 22	過去問/解答解説			
23	まとめ			
24	前期末試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 学科編		出席率	10.0%	
インテリア設計士テキスト 実技編		授業態度	10.0%	
インテリアコーディネーターハンドブック (下)		課題・レポート	20.0%	
		期末試験	60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎演習Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
インテリア設計士の図面課題を中心に演習することにより、平面図、展開図、家具詳細図などの作図方法を習得する				
授業終了時の到達目標				
インテリア設計士実技試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 建築士試験 学科・製図 社会人講座講師		
時間外に必要な学修				
平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習(予習・復習の実施) より多くの図面を見て、読み解く				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション 作図方法の確認	インテリア設計士実技課題の傾向と対策 (先輩の優秀作品より)		
2~ 3	平面図	平面図の作図(トレース)		
4~ 5	展開図	展開図の作図(トレース)		
6~ 7	家具図	家具図の作図(トレース)		
8~ 12	過去問トレース 今年度課題作図	エスキスからプラン~作図まで(パース含む)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 実技編 配布プリント		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
MAC演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
Macintoshの基本操作や設定について学ぶ DTPの基本技術の習得				
授業終了時の到達目標				
1 Macintoshの基本操作を習得する 2 Illustrator及びPhotoshopの基本操作を習得する 3 イラストボードをデジタルで表現することが出来る				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内 容		
1	Illustrator及びPhotoshopの基本操作	作品例の紹介及びパネル・ツール・ワークスペース・レイヤーなどの基本的なソフトの使い方について		
2	Illustrator①図形や線を描く	新規ドキュメントからイラスト制作を行い保存までについて		
3	Illustrator②ロゴマークを作る	数値入力での作画・文字・色について		
4	Illustrator③その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
5	Illustrator④その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
6	Illustrator⑤ペンツール	トレース		
7	Illustrator⑥確認課題A	Illustratorの基本操作の確認		
8	Photoshop①写真を綺麗に加工する	レタッチの基本		
9	Photoshop②写真の切り抜きと合成	合成の基本		
10	Photoshop③着彩	線画の抽出から塗りの基本 スキャナーの使い方		
11	Photoshop④その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
12	Photoshop⑤確認課題B	Photoshopの基本操作の確認		
13	前期の確認	IllustratorとPhotoshopの基本操作の確認		
14~ 15	フライヤーをつくろう	トンボや塗りだし、文字もアウトライン化やリンクなどDTPリテラシーについて		
16~ 17	実践課題 六本木デザイナーズフラッグコンペ	デザインからデータの提出まで		

回	テ ー マ	内 容		
18～ 19	実践課題 カフェのDM制作 MAP制作	ロゴの作り方 画像の配置とリンクについて		
20～ 24	ポートフォリオ制作	表紙のアイデア出し ページレイアウト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
これからはじめるIllustrator & Photoshop の本		課題・レポート 授業態度 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プランニング演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	0単位(120時間)	必須	植村, 鵜籠
授業の概要				
スケール感を身に付け、インテリア空間を機能的かつ美しくまとめる能力を養う				
授業終了時の到達目標				
前期、オリジナルデザインのテナント店舗の空間を計画・提案できる 後期、選択課題とし、より専門的な技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う 【鵜籠】建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する 様々な情報を集める癖をつける なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テーマ	内 容		
1	コンセプトワークとは	コンセプトワークの進め方を理解する		
2	コンセプトワーク実習	写真から言葉を連想し、様々な角度から物事の考える力を身に付ける		
3~ 10	課題①自室のコーディネート	コンセプトワーク、簡易プランニング、コーディネートボード制作を通して、プランニングの一連の流れを理解する		
11~ 24	課題②物販店の提案	ヒアリング、コンセプトワーク、プランニング、コーディネートボード制作、模型制作、プレゼンテーション		
25~ 60	課題③修了制作	住宅のリフォームorディスプレイ製作のどちらかを選択し1年間の集大成となる作品制作(コンセプトワーク、プランニング、製作)を通してプランニングの基礎を身に付ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパクト建築資料集成「インテリア」 建築・インテリア系雑誌全般		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インテリア製図		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠 麻美
授業の概要				
製図の道具の使い方や製図の書き方の基礎を習得しながら図面を仕上げていく				
授業終了時の到達目標				
部材の書き分けを理解し、美しい線が書けるようになる 図面に必要な表示記号、平面図、展開図が書けるようになる インテリア設計士持込用の図面を作成できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 建築士試験 学科・製図 社会人講座講師		
時間外に必要な学修				
平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習(予習・復習の実施) より多くの図面を見て、読み解く				
回	テーマ	内 容		
1	製図とは 三角スケールの使い方	製図の基本的知識 道具の使い方、線の書き方		
2	線の練習	線の練習 線の書き方、平行定規の使い方、定規の使い方		
3	線の練習	課題製作、提出		
4	表示記号	表示記号の書き方 扉、窓、仕上げ、材質の下書きと墨入れ		
5	表示記号	課題製作、提出		
6~ 12	インテリア設計士用図面作成	課題を読む エスキス 作図		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士 実技編		出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて、内容に 沿って予習を行 う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
モデリング		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	土居 正明
授業の概要				
モデルボードをメインの材料とし、その他の色々な材料を使って模型の基礎から応用までを学習する				
授業終了時の到達目標				
実物のミニチュアを制作することにより、3D感覚を養う 建築設計で作成した自分の作品を、実際に形にして確認する				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
いろいろなものをたくさん見る				
回	テーマ	内容		
1	道具・材料	道具・材料の説明 カッターの使い方・切り方等		
2	立方体	立方体の作成 ～切り方、一枚残し、糊付け		
3	平屋住宅(建築)模型の作り方	模型図面と模型製作 開口部の作り方		
4	平屋住宅模型の製作	模型の製作		
5	家具の製作	家具の製作方法と製作		
6	敷地・植栽の製作	敷地や植栽等の製作方法と製作		
7~ 9	2階建住宅の模型	複層階の建物の模型の作り方		
10~ 12	プランニング演習の模型製作	プランニング演習でエスキスしたプランの模型製作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
JWWの基本操作の習得				
授業終了時の到達目標				
JWWを使いこなし、作図できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション			
2	JWWとは	JWWについて インストール		
3	設定	標準設定		
4	基本操作①	左右のクリックの違い		
5	基本操作②	拡大・縮小・移動		
6	基本操作③	ドラッグ		
7	コマンド①	線コマンド		
8	コマンド②	円コマンド		
9	コマンド③	文字・寸法コマンド		
10	コマンド④	消去コマンド		
11	コマンド⑤	移動・複製コマンド		
12	コマンド⑥	伸縮・コーナーコマンド		
13	コマンド⑦	複線コマンド		
14	コマンド⑧	ハッチ・図形コマンド		
15	寸法の決まった図をかき①	簡単な図形の作図		

回	テ ー マ	内 容		
16	寸法の決まった図をかく②			
17	図形を開き、加筆・印刷しよう①	図形ファイルからの作図		
18	図形を開き、加筆・印刷しよう②			
19～ 24	練習問題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶJW_CAD(エクснаレッジムック)		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	山村 孝子
授業の概要				
一般的に最もよく使われるWord・Excel・PowerPointの基本機能を学習する				
授業終了時の到達目標				
Word・Excel・PowerPointの基本的な機能を理解し、就業後も活用できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大学、専門学校、職業訓練校、企業研修他 Office講師 10年		
時間外に必要な学修				
毎時間ごとの課題を翌授業までに提出				
回	テーマ	内 容		
1	あいさつ文 段落書式 箇条書き インデント・タブ	あいさつ文の挿入方法 段落に対しての書式の設定方法 箇条書きの設定方法 インデントやタブの設定方法		
2	写真や図形を挿入した文書の作成と ドロップキャップ	写真や図の挿入方法 レイアウトの設定の仕方 SumartArtの挿入と編集方法		
3	表やグラフを挿入したビジネス文書 の作成と印刷設定方法	やグラフを挿入したビジネス文書の作成と印刷設定方法 2つの文書の比較方法		
4	複雑なレイアウトの文書の作成 宛名書きを効率的に行う	改ページ・セクション区切り・段組みの設定方法 差し込み印刷方法		
5	演算記号を使っての計算 関数(SUM関数、AVERAGE関数他)	演算記号を使っての計算の方法 関数の考え方・使い方		
6	関数のネストについて(IF関数、 VLOOKUP関数、AND関数、OR関数)	関数のネストの方法(IF関数、VLOOKUP関数、AND関数、OR 関数)		
7	グラフの作成・編集 入力データに制限をかける	グラフ(複合グラフ含む)の作成・編集方法 入力規則の設定方法		
8	条件に従って並べ替えを行う テーブルの作成 印刷時の設定	並べ替え・フィルターとは、テーブルの作成と編集方法 印刷設定、印刷タイトルの設定方法		
9	スライドの作成・文字の入力・編集	スライドの作成の仕方 レイアウトの編集の仕方 背景の設定の仕方 画像の挿入・サウンドの挿入の仕方		
10	スライドに効果をつける プレゼン資料の印刷	オブジェクトの動きをつける スライドの切り替え効果 プレゼン用の資料の印刷		
11	発表資料作成	PowerPointを使用して作品を作る(スライドは5枚~10 枚)		
12	発表資料仕上・発表	作成したPPの作品発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ひと目でわかる Office for Mac 2016		出席率 授業態度 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	課題提出は、実 習・実技評価に含 む

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
スペースデザイン演習 I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠 麻美
授業の概要				
習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで手順を理解する様々な課題を通してスケール感や空間構成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	名作椅子の模型製作①	選択 図面制作		
3~ 5	名作椅子の模型製作②	模型制作		
6	プレゼンテーション			
7	6階ミニディスプレイの提案①	出題 実測		
8~ 11	6階ミニディスプレイの提案②	エスキス～図面・模型		
12	プレゼンテーション			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
言葉で理解するだけではなく、実践を通してコミュニケーション能力を上げる				
授業終了時の到達目標				
企業が求める社会性とコミュニケーション能力を持つ人材となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	自己紹介、目標設定	グループでコミュニケーション 効果的な自己紹介の方法		
2	コミュニケーションの基本	コミュニケーションの定義 「話すこと」「聞くこと」		
3	コミュニケーションの基礎練習	挨拶、お辞儀等		
4	コミュニケーションの基礎練習	発声・発音、言葉遣い等		
5	コミュニケーションの基礎練習	正しい日本語		
6	コミュニケーションの基礎練習	プレゼンテーション		
7~ 9	コミュニケーションの基礎練習	グループディスカッション		
10~ 11	コミュニケーションの基礎練習	プレゼンテーション		
12	目標設定			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コミュニケーション技法		課題・レポート 授業態度 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じて問題や課題を発見し、授業で解決していく。なお、動画は自宅などで事前に視聴することを前提とする。授業はグループワークを主とし、発表を通じて、理解を深めていくスタイルをとりたい。				
授業終了時の到達目標				
就職活動に必要な考え方やスキルはもちろん、社会で活躍するライフスキルも身につく。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	授業スタイルの説明(動画での予習が前提となる) グループ分け(4~5人)とグループ内で自己紹介		
2	「就職活動の世界」を知る その1	以下、グループと全体で確認と共有。 ・就活の心構え ・就活の目的と目標 コンピテンシーチェックを行う		
3	「就職活動の世界」を知る その2	以下、グループと全体で確認と共有。 コンピテンシーチェックを振り返る(何を伸ばし、何を補うか。自覚を促す)		
4	偶然がつくる人生	以下、グループと全体で確認と共有。 ・偶然性理論とは ・これまでを振り返ってわかったこと ・具体的な3つの行動		
5	就活基礎教育(1)モノの見方 その1	以下、グループと全体で確認と共有。 ・自分のモノの見方の特徴 ・モノの見方を広げるためにはどうしたらいいのか。		
6	就活基礎教育(1)モノの見方 その2	以下、グループと全体で確認と共有 ・モノの見方をどう広げたか、何が見えたか、どうしてまだ見えないのか		
7	プレゼンの基礎を学ぶ	お互いの良い点・改善点を挙げる		
8	自己PR(自己紹介文)を書く その1	10のステップで書いたものを、800字以内でまとめる		
9	自己PR(自己紹介文)を書く その2	グループ内で回し読みをし、評価をする(良い点・改善点)		
10	履歴書の書き方と伝え方	基本情報と趣味を書いてみる。グループで回し読みをし、評価をする。		
11	志望動機を書く	グループ内で回し読みをし、良い点・改善点を挙げる		
12	面接の基本	模擬面接をする		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	40.0%	
		授業態度	30.0%	
		出席率	30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
総合デザイン I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
トータルインテリア学科1, 2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う				
授業終了時の到達目標				
1, 2年で協力しクオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン		
2~ 4	プレゼン 制作	各班のプランをプレゼン 制作(全員)		
5~ 11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン(教員了承後)		
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
総合デザインⅡ		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る				
授業終了時の到達目標				
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い 自己表現することが出来る デザイン展の空間トータルデザインを考える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内 容		
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定		
2~ 6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける		
7	課題発表②	デザイン展に向けた企画・提案 展示方法・学科としてできることについて		
8	プレゼンテーション	企画発表		
9~ 12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
造形演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位(96時間)	選択	鶴籠 麻美
授業の概要				
図面上のコーディネートだけにとどまらず、実際のクロス、ファブリックに触れて、カラーコーディネートの基礎、小道具を含めた実践力となるディスプレイ、ショウイングを身に着ける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトイメージを、立体の色、形、テクスチャーとして組み立て、スタイリングとして表現することを習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
インテリア関係の雑誌をたくさん見ること				
回	テーマ	内容		
1~ 2	オリエンテーション	コンセプト作り、企画デザイン、ディスプレイの仕掛け方等、商空間デザインのプロセスを理解する		
3~ 6	アートフレーム	立体コラージュ コンセプトテーマに沿った、アートフレーム制作		
7~ 10	ミニブース	ツールの使い方を含めた立体スタイリングのノウハウ (テーブルコーディネート、ディスプレイ実習)		
11~ 14	ラッピング	ラッピングの基本の包み方3種を習得、と同時にペーパーやリボンのカラーコーディネート実習		
15~ 23	イメージディスプレイ(グループ制作)	ウィンドウをイメージしたスペースに、壁紙コーディネート、什器デザイン、ショウイングを含む空間ディスプレイのプレゼンテーション		
24	プレゼンテーション			
25~ 26	インテリアセラピー	ヒーリングカラー&素材の使い方		
27~ 28	校外学習	住宅展示場の見学		
29~ 32	ウィンドウディスプレイ1/10モデル	1/10スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型製作①(コンセプトメイキング、プラン)		
33~ 34	郊外学習	住宅展示場の見学		
35~ 42	ウィンドウディスプレイ1/10モデル	1/10スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型製作②(製作)		
43~ 46	カラーコーディネートフレーム	カーテン生地や、壁紙のカラーコーディネート実習として、フレームを制作		
47~ 48	プレゼンテーション まとめ	作品プレゼンテーション、まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 30.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
建築基礎演習		トータルインテリア学科/ 1年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位(96時間)	選択	植村 祐介
授業の概要				
様々な方法を通して空間把握能力を養う 有名建築の空間を通して空間構成力を養う				
授業終了時の到達目標				
様々な空間を提案できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
実物、雑誌等を通して空間に目を向ける				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション			
2~ 4	柱の空間	柱の空間を調べスケッチ		
5~ 7	壁の空間	壁の空間を調べスケッチ		
8~ 10	屋根の空間	屋根の空間を調べスケッチ		
11~ 14	削り出す(ひく)空間の提案	スタイロフォームを使い削り出される空間を製作、提案		
15~ 18	積む(足す)空間の提案	ブロック(小片)を用い空間を製作、提案		
19~ 23	光の空間	前期総合課題 様々な素材を使い光の空間を製作、提案		
24	プレゼンテーション			
25	オリエンテーション			
26~ 29	有名建築の調査①			
30	プレゼンテーション			
31~ 35	有名建築の調査②	有名建築トレース		
36~ 47	有名建築模型製作	忠実に模型で有名建築を再現する		
48	プレゼンテーション			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 30.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
作品展示計画 I		トータルインテリア学科/ 1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	31回	0単位(62時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備 様々なアイデアでデザイン展を盛り上げる				
授業終了時の到達目標				
限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる 制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 16	修了制作の制作			
17~ 19	プレゼン練習			
20~ 23	プレゼン			
24~ 31	デザイン展制作/設営	デザイン展' 2 2		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 授業態度 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	次回の授業内容を 踏まえて、提示課 題を用いた予習を 行う。